

## 農業委員会の女性登用に関する状況（令和6年度）

### － 結果のポイント －

令和6年度における農業委員会の女性登用に関する状況のポイントは以下のとおり。

- 前年度に続き、女性委員の比率や目標・計画の設定状況等、女性登用の取組は緩やかに進んでいる。
- 都道府県内に設置されている全ての農業委員会において女性が登用されている都道府県は10県。

〔宮城県、秋田県、山形県、栃木県、富山県、岐阜県、鳥取県、広島県、山口県、長崎県〕

- 全国の女性の農業委員数は3,327人で、農業委員全体の14.5%(+0.4%)
- 女性の農業委員の比率が30%以上※となった農業委員会は117（全体の6.9%）。女性の農業委員の比率が最も高かった農業委員会は、2年連続して沖縄県座間味村（66.7%）となった。

〔1位：沖縄県座間味村（66.7%）、2位：長野県宮田村（50.0%）、3位：愛知県半田市（45.5%）〕

※ 農業委員に占める女性の割合について、食料・農業・農村基本計画（令和7年4月閣議決定）及び第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）において、30%が成果目標として設定されている。

- 都道府県別では、令和3年度に本調査を始めて以来、4年連続して栃木県が47都道府県のうちで最も高い女性の農業委員比率となった。

〔1位：栃木県（22.5%）、2位：宮城県（21.4%）、3位：岩手県（20.5%）〕

- 女性の農業委員比率の伸び率（前年度比）は、兵庫県が最も高かった。

〔1位：兵庫県（+2.0%）、2位：新潟県（+1.5%）、3位：岩手県（+1.4%）〕

- 前年度に女性の委員がいなかった農業委員会において、改選等で最も女性の委員比率を伸ばしたのは、兵庫県多可町（+29.4%）だった。

〔1位：兵庫県多可町（+29.4%）、2位：愛知県南知多町（+28.6%）、3位：兵庫県小野市（+25.0%）〕

- 前年度に女性の委員のいた農業委員会において、改選等で最も女性の委員比率を伸ばしたのは、宮城県塩竈市（+28.6%）だった。

〔1位：宮城県塩竈市（+28.6%）、2位：岩手県宮古市（+18.9%）、3位：兵庫県丹波篠山市（15.8%）〕

（以上）